

第6回まこもシンポジウムin出雲

日時 2024年6月1日(土)

(受付開始 13:00)

シンポジウム 13:30~17:00

交流会 17:30~19:30

場所 大社文化プレイス うらら館

島根県出雲市大社町杵築南1338-9

定員 シンポジウム150人 交流会50人
満席になり次第受付を終了

会費 事前受付 3,000円 当日 3,500円

交流会 事前受付 5,000円 当日 6,000円

会費は、当日徴収(幼児無料)

■お申し込み方法 裏面をご覧ください。

一部 基調講演

講師 本林 隆氏 国立大学法人東京農工大学農学部教授(農学博士)

テーマ まこもと黒穂菌の不思議

マコモ栽培について 松川孝治氏(技術専門職員)

二部 研究発表

講師 せのうこうたろう氏 ソマチッド研究者

テーマ 謎の生命体「ソマチッド」について

(休憩)

三部 事例発表

■松本 公一氏(島根有機農業協会 理事長)

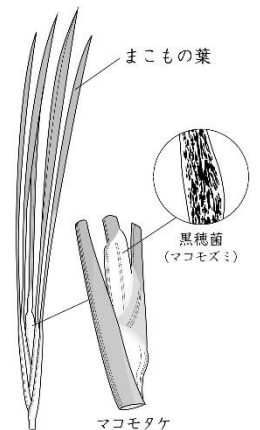
地元自治体(江津市)と民間企業が協働してマコモ栽培を開始、耕作放棄地対策に朗報。

■長友 武洋氏(宮崎県延岡市 きたがわ川岸自然農園代表)

地球と人類に素晴らしい未来をもたらす為にはマコモが欠かせない作物である事を知ってもらう活動をライフワークとして志し、日々奮闘中

■矢部 美紗氏(薬剤師、宝塚里山マルシェ主宰)

宝塚西谷の休耕田でマコモを3反栽培。今年で7年目となる。昨年末に台湾埔里にてマコモの視察をする。



主催 出雲國まこもの会

<https://www.facebook.com/izumo.makomo>

裏面続く

■講師紹介

本林隆氏プロフィール

出身:長野県松本市(旧四賀村)

出身大学:東京農工大学農学部(1984年卒業)

職歴:東京都蚕糸指導所(1984年～1988年)、東京都農業試験場(1988年～1994年)
東京農工大学農学部附属農場(1994年～2000年)、国立東京農工大学農学部
附属フィールドサイエンス教育研究センター(2000年～現在に至る)

(マコモとの出会い)

専門の研究分野は「応用昆虫学」です。その中で水稻の栽培に関する研究をはじめ、水田に関わる様々な研究に携わるようになり、マコモに関心を持つようになりました。東北大の三枝正彦氏(ジザニア研究会)より苗を取り寄せて栽培を始めたのが最初の出会いです。

(研究歴および研究テーマについて)

研究を始めて10年ほどになります。最初の数年間はマコモタケの収量や品質を向上させるための施肥条件や栽植密度など栽培学的な研究をしていましたが、マコモタケを形成する株としない株あるいは出穂してしまう株の存在など、環境条件のみでは説明がつかない現象がみられ栽培学的な研究だけでは限界があると感じています。最近では植物病理学の専門家と共同で研究をすることとなり、黒穂菌自体の研究も進めています。

今回はマコモの栽培を担当している松川孝治氏(技術専門職員 広域都市圏フィールドミュージアム教育研究センター)にも登壇していただきます。

势能幸太郎氏プロフィール

株式会社ハイパフォーマンスラボ代表取締役(ソマチッドを活用する治療家)

超HSP(感受性が強く敏感な気質)の体質で生まれ、生きにくさを抱えたまま大人になったが、治療家として、その敏感さが役立ち、今ではソマチッドと通信できるまでに。現在、温泉、薬石などのソマチッドを日々観測し情報収集。自らの特性を活かし、ソマチッドクリームなどの製品化も手掛け、全国各地で公演・講座を行っている他、ソマチッドアジャスターオンラインスクールも開講。全国各地でソマチッドアジャスターマスターが続々と誕生している。

(まこもとソマチッド)

「神宿る草」として活用されてきた「まこも」。神秘性と生命力の源はソマチッドが関係しているのでは、との思いからマコモの根を取り寄せ研究中である。

著書:地球も水も生命も全ては【ソマチッドの塊】なのか?、ソマチッドが超活性している!宇宙と超古代からの生命体

Youtube <https://youtu.be/TNaNQXdSemE>



■お申し込み方法

右のQRコードを読み込んでお申し込みください。(受付開始3月11日)



シンポジウムご案内 www.makomoya.com/symposium/

■ご宿泊希望の方

事務局では取りまとめをしません。各自でご予約ください。

ご参考 出雲観光協会のサイト (izumo-kankou.gr.jp)

■出雲大社での涼殿祭(真菰神事)のご案内

日時:6月1日午前10時頃～11時頃まで

場所:出雲大社銅鳥居横の御手洗井(みたらしのい)から東方へ約100mの場所にある「出雲の森」の間で執り行われます。9時半にはご参列下さい。

出雲國まこもの会

「出雲國まこもの会」は出雲とかかわりの深いまこもの歴史や文化を学び、農薬・化学肥料を一切使うことなく栽培された真菰を島根県のブランドとする事を目指しています。

当日は、まこもに関連する商品の展示販売も行っています。

